

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 飛鳥井ワークセンター（京都市飛鳥井学園）の運営について

利用される方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、身辺自立を支援するとともに、生産活動の機会を提供し、社会生活を送る上で必要な支援を行います。

生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上のために必要な支援を行っています。また、企業就労を希望される方には就職に向けた支援と職場で長く働き続けることを目指した支援を行います。

### センターの収入と支出

総額 1.5 億円

#### <支出>

利用者 1 人当たりの運営経費 9,300 円

運営委託費（人件費・事業費等） 8,700 円	維持 管理費 600 円
----------------------------	--------------------

#### <収入>

9,300 円（100%）  
市民の税金で負担（公費で負担）

いずれも概数  
10 円単位で四捨五入

- 施設を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、現行の利用料金等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様に納めていただく税金）などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。